

教育・学修支援の専門性に必要な能力項目・能力ルーブリック(2023) 行動特性まとめ (目的・項目・行動特性)

この表は「教育・学修支援の専門性に必要な能力項目」を具体的に示すために、各目的が含む要素として「項目」を示しており、各項目が含む要素として「行動特性」を示したものである。

目的	整理番号	行動特性
大学について理解を深める ・高等教育・社会・教育に関する知識 ・所属大学についての理解	1	・高等教育の制度や歴史を理解している。
	2	・大学という組織自体の特性を理解している。
	3	・大学やそれを取り巻く環境に関する知識を持っている。
	4	・大学教育関係の法令や近年の施策の流れを理解している。
	5	・文部科学省や中央教育審議会等の政策文書を読んでいる。
	6	・学校教育法や大学設置基準等の関連法規を理解している。
	7	・単位制度について説明できる。
	8	・高等教育の諸制度の内容とそれらへの対応方法を理解している。
	9	・心理学および社会学の知識を持っている。
	10	・学生の発達理論を知っている。
	11	・最新の就職活動事情や企業に関する知識を持っている。
	12	・いじめ、ハラスメントに関する理解と対応を知っている。
	13	・教育学の知識を持っている。
	14	・教育工学の知識を持っている。
	15	・カリキュラムの基礎知識を持っている。
	16	・専攻領域やそのカリキュラムを熟知している。
	17	・インストラクショナル・デザインの知識・スキルを持っている。
	18	・教育評価についての知識を持っている。
	19	・自身が所属する大学のミッションを共感をもって受け容れている。
	20	・所属大学の方針を理解している。
	21	・所属大学の全学的動向を把握している。
	22	・所属大学の状況を理解している。
	23	・所属大学の全般のルールを把握している。
	24	・所属大学の教育に関する3つのポリシーを理解している。
	25	・履修規則を理解している。
	26	・教務知識や学内リソースを幅広く把握している。
	27	・所属大学の教育方法の課題を理解している。
	28	・所属大学の教育内容の特徴を理解している。
	29	・学内の教育・学修環境や設備を把握している。
	30	・所属大学の学生の生活状況について知っている。
	31	・学生支援の担当組織を理解している。
	32	・学生が課題とする内容にあわせて担当箇所を案内する。
	33	・所属大学の理念に基づいた対応をしている。
	34	・所属大学での複数の業務領域の知見を持っている。

目的	整理番号	行動特性
学生・学修・教育支援の理解を深める ・学生の現状理解 ・教育内容の把握 ・学生支援・学修支援・教育支援の設計と実施 ・学生支援・学修支援・教育支援活動の改善	35	・学生や学生支援の現状を把握している。
	36	・現代の学生・若者をめぐる課題や問題状況を理解している。
	37	・学生理解のための基礎的事項を学んでいる。
	38	・学生の特徴・性格に関する知識を持っている。
	39	・学生の特徴と大学の学生に対する影響を知っている。
	40	・学生の学習や発達についての知識を持っている。
	41	・学生のメンタルヘルスに関する知識を持っている。
	42	・学生が起こすトラブルについての知識を持っている。
	43	・性、人種、国籍等の多様性を理解している。
	44	・国際的感覚・異文化理解の知識を持っている。
	45	・留学生の生活に関する知識を持っている。
	46	・留学生出身国に関する知識を持っている。
	47	・日本語・日本文化に関する知識を持っている。
	48	・留学生が抱える困難を理解している。
	49	・学生のピアサポート活動の運営や支援に関心がある。
	50	・教育・学習の内容を把握している。
	51	・各専門分野の教育について動向を把握している。
	52	・様々な教育方法に関心がある。
	53	・効果的な教材の利用、開発に関心がある。
	54	・カリキュラムマネジメントについて関心がある。
	55	・学生・学修・教育支援の内容を選別し、選定する。
	56	・学生・学修・教育支援の方法を選定する。
	57	・所属大学の学生の特徴を把握している。
	58	・学生を観察して、マーケティングできる。
	59	・学生の諸活動を調整し、全体としてまとめる。
	60	・教職員の学生支援に対する理解を促進する。
	61	・学修に必要なアカデミックスキルについて理解している。
	62	・学生が参加できる学内外の学習機会を把握している。
	63	・学生が海外留学する際のプロセスを理解している。
	64	・ひとりひとりの学生が大学で学ぶ目的を自覚するのを助け、それぞれの学びの目的に合った専攻分野の選択や科目の選択を支援する。
	65	・学生・学修・教育支援の活動・プログラムの満足度などを測定する。
	66	・学生・学修・教育支援の活動・プログラムを評価し、検証する。
	67	・学生・学修・教育支援の活動・プログラムを改善につなげる。

目的	整理番号	行動特性
担当業務を深める ・担当業務に関する知識 ・情報収集・整理・分析・発信 ・課題の設定と問題解決 ・様々な経験とその活用	68	・業務に必要な知識を持っている。
	69	・業務についての専門知識を持っている。
	70	・教務は担当者の裁量が大きいことを理解している。
	71	・大学の予算・会計について理解している。
	72	・学生や教育に関する情報の管理についての法令を理解している。
	73	・資料収集や調査等の方法を理解している。
	74	・関連機関等から情報を収集する。
	75	・先進的な取り組み事例を把握している。
	76	・学内の他箇所や他機関の事例を参照する。
	77	・同僚の考えや思い、アイデアに耳を傾ける。
	78	・データや統計を使用して実態を把握する。
	79	・情報を整理する。
	80	・収集した情報を分析する。
	81	・伝わりやすい情報に加工する。
	82	・客観的データを提示する。
	83	・相手に分かりやすい文書を作成する。
	84	・効果的に情報を発信する。
	85	・情報探索の結果をまとめ、効果的に伝える。
	86	・業務をデータで残し、整理し、引き継ぐ。
	87	・課題を理解し設定する。
	88	・課題とこれからの方向性をはっきりさせる。
	89	・課題を見つけて、解決方法を見出す。
	90	・新しい企画・提案をする。
	91	・取組の見通しを的確に示す。
	92	・戦略プランニングの手法を持っている。
	93	・様々な業務経験がある。
	94	・教育の経験がある。
	95	・留学経験がある。

目的	整理番号	行動特性
学生と関わる ・学生対応に関する知識 ・学生対応への基本的姿勢・態度 ・多様な学生への対応	96	・学生に適切なアドバイジングの方法を知っている。
	97	・アカデミック・アドバイジングに関する基礎知識を持っている。
	98	・キャリア・アドバイジングに関する基礎知識を持っている。
	99	・カウンセリングの知識を持っている。
	100	・問題のある学生への対応方法を知っている。
	101	・教職員や学生が接しやすい態度を心掛けている。
	102	・学生に、信頼されるように接している。
	103	・人の成長を助けたいと思っている。
	104	・「学生のためになること」は何でもやろうとする情熱を持っている。
	105	・人と話すことが好きである。
	106	・学生と適切な心理的距離感を保つことを理解している。
	107	・学生のニーズを把握する。
	108	・学生の立場で考えている。
	109	・平等な態度で接している。
	110	・価値判断を押し付けない態度をとる。
	111	・他者の話を丁寧に聴く。
	112	・学生の話に傾聴の姿勢で聴く。
	113	・学生への指導力を持っている。
	114	・人の顔や名前を覚えている。
	115	・多様な学生層へのコミュニケーション方法を理解している。
116	・障がいをもつ学生への対応方法を理解している。	
117	・個々の学生の家庭環境や家族関係が多様であることを理解しようとしている。	
118	・相手の特徴や個性に合わせた対応をしている。	
119	・個々の学生に適切な時期に、適切に対応する。	
120	・困った人を見たら進んで声を掛ける。	

目的	整理番号	行動特性
業務において連携・協働する ・チームワーク ・人的ネットワークの構築 ・教職員との連携・協働 ・ステークホルダーとの連携・協働	121	・自分の個性や特徴を理解している。
	122	・職員としての役割意識を持っている。
	123	・正確に仕事をする。根拠を持って対応している。
	124	・ルールや規則を遵守している。
	125	・学内規定を参照している。
	126	・分からないことがあれば他人に聞いている。
	127	・問題を自分だけで解決しようとしめない。
	128	・周りの仕事を把握している。
	129	・仕事に優先順位を付けている。
	130	・自分の業務の進め方を絶えず見直している。
	131	・業務の意義や進め方を自ら判断できるための学習をしている。
	132	・新たな業務に率先して取り組む・チャレンジする姿勢を持っている。
	133	・チームワークが得意である。
	134	・相手の立場で考える。
	135	・同僚と協調して職務を遂行する。
	136	・学内の他箇所の仕事に関心を持っている。
	137	・他箇所との交流を積極的に行っている。
	138	・どの箇所に相談すれば仕事が進むかを判断する組織内人脈を持っている。
	139	・学内の他箇所と連携して業務を進める。
	140	・関連機関等と連携・調整する。
	141	・リーダーシップを発揮する。
	142	・マネジメントの基礎的能力を身につけている。
	143	・職場の環境づくりを考える。
	144	・リスクを想定して行動している。
	145	・想定外の事態に臨機応変に対応する。
	146	・他の職員の能力向上、能力開発を支援する。
	147	・学外ネットワークの重要性を知っている。
	148	・他大学の教職員と交流する。
	149	・他大学の人のつながりを持っている。
	150	・設置形態が異なる他大学の視点からの意見を聴く。
	151	・自主的にキャリアアップ/スキルアップの取り組みを行っている。
	152	・自分から進んで研修に参加している。
	153	・教員の特性を知っている。
	154	・教員とのコミュニケーションを図っている。
	155	・教員との信頼関係を構築している。
	156	・教員とともに企画を遂行する。
	157	・教員がどのように教育しているかを知っている。
	158	・教員と協働する。
	159	・自分の業務の社会に対する意味や役割を意識している。
	160	・関係者の声を誠実に受け止め、誠意をもって対応する。
	161	・学生や保護者、教員から信頼される人間関係を構築する。

目的	整理番号	行動特性
教育・学修支援の新たな方向性を構想する ・先導的・先進的な教育支援・学修支援の構想力 ・教育・学修支援での新たなテクノロジーの活用	162	・高等教育の新たな制度を理解している。
	163	・教育・学修支援や教育活動に活用されているテクノロジーの仕組みを理解している。
	164	・テクノロジーを活用する上で必要な情報倫理観を身に付けている。
	165	・テクノロジーを活用する上で遵守すべき法令を理解している。
	166	・著作権の動向を理解している。
	167	・新しいテクノロジーに対応する。
	168	・新たな制度や仕組み、テクノロジーを用いて、先導的・先進的な教育・学修支援を構想する。
	169	・新たな教育・学修支援や教育活動の構想について適切な助言をする。
	基盤的スキル ・説明できる力 ・物事を広くみる力 ・クリティカルシンキング ・文章作成能力 ・メタ的な能力(社会人としてのコンピテンシー) ・語学	170
171		・取組の目的やねらいを表現する力を持っている。
172		・人前で話す際の能力を持っている。
173		・社会常識に照らして検討する。
174		・幅広い視野から職務を見通すことができる。
175		・先見性・先を見る力を持っている。
176		・疑問を持つことを意識している。
177		・批判的なものの見方を持っている。
178		・論理的思考を意識している。
179		・批判的かつ創造的思考を持っている。
180		・アイデアを出す能力を持っている。
181		・文章作成力を持っている。
182		・論文作成力を持っている。
183		・自分の意見を持っている。
184		・健康・体力を維持している。
185		・冷静な判断力を持っている。
186		・クレームに対応することができる。
187		・信頼関係を構築することができる。
188		・英語で業務を進める。
189		・英語等の外国語の学習を行っている。
190		・英語以外の外国語で業務を進める。